

生物多様性総合評価報告書案の構成

評価報告書の構成（案）	内容等（案）
はじめに (Foreword)	
評価の概要 (Executive Summary)	・政策決定者向けの要旨。
序章 (Introduction)	評価の実施にかかる基礎的情報
第 1 節 生物多様性の損失	・評価実施の動機、根拠。
第 2 節 生物多様性総合評価の実施	・評価の目的・評価の枠組や構成・評価体制について。
第 I 章 わが国の自然と社会経済	評価の前提となる背景的な情報を記述
第 1 節 わが国の自然環境と生態系	・わが国の自然環境の概説。 ・6つの生態系区分ごとの概説。
第 2 節 わが国社会経済状況の推移	・わが国の生物多様性の危機の背景となる社会経済状況を概説。
第 II 章 損失の要因の評価	損失の要因の評価を行う。
第 1 節 第 1 の危機の評価	・評価期間中における生物多様性の損失の状況や傾向の評価。 ・「全般」の指標（14 指標）を用いて評価する。
第 2 節 第 2 の危機の評価	
第 3 節 第 3 の危機の評価	
第 4 節 地球温暖化の危機の評価	
第 5 節 危機への対策の基盤	
第 III 章 損失の状態の評価	損失の状態の評価を生態系ごとに行う。
第 1 節 森林生態系の評価	・評価期間中における6つの生態系ごとの生物多様性の損失の状況や傾向の評価。 ・生態系別の指標（16 指標）を用いて評価する。
第 2 節 農地生態系の評価	
第 3 節 都市生態系の評価	
第 4 節 陸水生態系の評価	
第 5 節 沿岸・海洋生態系の評価	
第 6 節 島嶼生態系の評価	
第 IV 章 評価の総括	II 章と III 章で行った評価の総括、生態系サービスと 2010 年目標達成状況について
第 1 節 2010 年までの生物多様性の損失	2010 年における生物多様性の損失の状態と 1950 年代後半からの損失の要因など。
第 2 節 2010 年目標の達成状況の評価	2010 年目標の概要と 23 目標ごとの評価。
第 3 節 2010 年以降の生物多様性の損失への対応	2010 年以降の生物多様性の損失の見通しと損失への対応の方向性。
第 V 章 今後の課題	わが国における評価の活用の方向・施策展開の方向、今後の課題など
第 1 節 今後の生物多様性総合評価の役割	・生物多様性総合評価が生物多様性の損失を緩和・回復させるために果たしうる役割と、それに向けた課題。
第 2 節 観測体制からのインプットにかかる課題	
第 3 節 目標設定へのアウトプットにかかる課題	
第 4 節 行動へのアウトプットにかかる課題	
附属資料 指標の評価・評価の手順など	評価に係る技術的事項を示す
附属資料 I 評価の手順	DPSIR フレームワークや有識者アンケート。
附属資料 II 指標の評価	指標の良否等の評価。